



リアルタイム産業廃棄物管理システムの開発と実証試験

樋口 良之 (福島大学 共生システム理工学類)

1. Needs

- 産業廃棄物の管理では、複写式の産業廃棄物管理票(紙媒体)から、インターネットを活用した電子マニフェスト(電子媒体)の運用へ移行するよう取り組まれている。
環境省 2008年度 20パーセントの普及を目指す。
IT戦略本部 2010年度 50パーセントの普及を目指す。
(年間件数全国2,250万件)
- 排出者、運搬者、処理・処分者は産業廃棄物の管理業務の適正化と効率化を進めたい。

2. Situations

電子マニフェストの運用の利点

- JWNETで情報の一元管理ができる。
 - 記載漏れや誤りが生じにくく、法令の遵守を容易にする。
 - 管理票の送付、回収がなくなり、照合が容易である。
 - 管理票の保管が容易になり、紛失が回避できる。
- 電子マニフェストの運用を支援するために
- 廃棄物現物と電子データの間で同期した管理をしたい。
 - 社内基幹業務システムとの連携の推進をはかりたい。

3. Actual Performances

産業廃棄物管理において、次の特長を有するシステム「Mani Q」を開発した。

- JWNETと連携し、データの入力、保管、関係者への送信、照合などの作業の正確、簡素化、公的データセンターでの一元管理などの特長を活かす。
- 廃棄物現物と電子データの同期性を確保し、排出者、運搬者、処理・処分者、監督者などの廃棄物に携わる者が簡単に目で見える管理を実行できる。
- 現存するASP事業者と同等以上の利便性を追求し、かつ、導入コストを抑制し、小規模事業所でも活用しやすいように配慮する。



Mani Q 現場運用が簡単・便利な産業廃棄物管理システム

携帯電話でもデータが読み込めるQRコード管理
電子マニフェストとも連携し、監督官庁への報告書なども簡単に作成

電子マニフェスト(JWNET)に完全対応。
排出事業者のデータ入力が簡単です。

これで排出者責任もバッチリOK!
QRコードのシールを貼れば、廃棄物の運搬・処理状況がリアルタイムで通知されます。

簡単に携帯電話でQRコードを読んで、目で見える廃棄物管理ができます。
監督官庁への報告書、産廃税計算書などの書類作成も簡単にできます。
(産廃税計算書など一部オプション設定)

これで運搬者も処理処分者も業務軽減
廃棄物の検収、電子マニフェストデータの
入力登録作業が大幅に削減されます。

動作環境

- OS: Windows2000/Me/XP/Vista (一部除く)
- CPU/メモリ: 使用するOSが推奨する環境以上
- ハードディスク必要容量: 750MB以上
- 画面: 解像度1024×768以上、High Color以上
- タブレット: 各社のパソコン接続可能なタブレットに対応 (一部機種を除く)

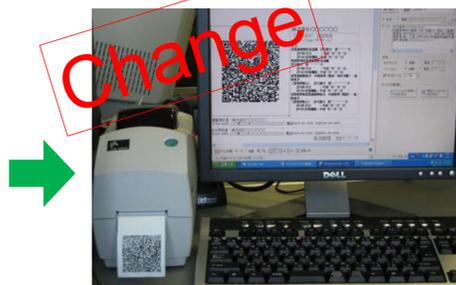
対応機種についてはお問い合わせください。

digicraft
http://www.digicraft.jp/

4. Next Steps

開発したシステムの実証試験

排出者



運搬者



手書きの産業廃棄物管理票 から パソコン入力によるQRコードへ 新スタイルの検収 排出事業所からの搬出作業

処理・処分者



管理票データの入力 から QRコードの読込と確認へ

開発システムの評価から実ビジネスへの展開へ

VPN環境下でのクライアントサーバシステムから、Webサービスへの展開へ